

第34号

ニーセン・はつピーライフ俱楽部通信

連絡先
0859-75-2124

社長挨拶

一雨ごとに寒さが増して、気がつけば年の瀬がすぐそこまで来ています。本当に一年のたつの早いものです。子供のころの時間と同じ速さなのでしょうか? 会員の皆様はどう思われますか。

本年は、いや、本年も色々とありました、年初にはまれに見る大雪による災害(三月には東北地方を大地震が襲い、その後遺症がいまだに国民を悩ませています)。春先の大雪に続き、秋台風による大山系の河川は甚大な被害を受け、その傷跡が癒えるには相当な年月を要するといわれています。会員様の中にもそれなりに被害にあわれた方もあるようです。最近は自然災害が多く発生し、私たちの有形無形の財産を傷つけます。また、政治は、TPPの参加を始め万事混亂を極め、益々不安をあります。身近なところでは少子高齢化による問題があります、田畠や山林、お墓、家屋敷の将来的な相談が、ボツリボツリではありますが私どもにくるようになります。それに事情があり「これが正解です」とはなかなか言い切れない場合が多いですが、その様な御相談をいただけるようになつたことに 대해、感激と責任を大いに感じているところです。どんなときも私達地域に暮らす者達は、助け合いながらしっかりと暮らしていきたいものです。少なくとも、当俱楽部の皆様とは有効な情報を共有して、心豊かな生活を目指したいと考えています。

これから、厳しい寒さの季節へと時間はゆるむことなく進んでいきますが、その先に待つ暖かな春を想い、皆様の元へ限りないしあわせが来るこことを祈念して、この号の御挨拶と致します。



11月の大山



義援金

第六回コーセンはつピーライフ杯チャリティGG大会において皆様から頂きました義援金13,610円を当社において日本海新聞伊藤記者に手渡しました。会員様の気持ちは必ず被災地に伝わります。有難うございました。

コーセンのお仕事

当俱楽部の会員様は現在五百名以上となっています。多くの方からお仕事の依頼を賜り、色々と声を掛けていただきますがその中でも、一番多いお言葉があります。それは「こげなこともしなーだか」。地元の建設業者として六十年近く営業しています。おかげで大概のこじんまりとした対応できるようになりました。どうか、どんな些細なことでも電話をしてください。責任を持って対応いたします。

テレビの画面に登場する、さわやかな女性と愛くるしい子供たちが演じるカルピスのコマーシャルには思わず見入ってしまいます。この飲み物は筆者も子供時代に飲んでいたのでそのおいしさは良く知っています。いまや国民的な商品ではないでしょうか。

す

この会社の創業者は三島海雲といいます。明治11年にお寺の長男として生まれ、仏教大学で学んだ後、明治35年に中国大陸へ渡りました。日露戦争が始まると軍馬の調達でモンゴルにたびたび訪れるようになります。あるとき長旅による疲れで倒れた三島は、牛や馬の乳を発酵させた酸乳という飲み物でたちまち元気になりました。このときに乳酸菌の有効性に気付いたといわれています。

そして大正4年帰国した三島は、発酵乳を基にした食品作りを決意します。しかし立て続けに発売した発酵クリームや乳酸菌入りキャラメルは失敗に終わります。そして、ついに脱脂乳を乳酸発酵させ砂糖とカルシウムを加えた、今までにない旨味の飲み物を完成させました。販売するに当たって、ネーミングはサンスクリット語の仏教で最高の味を意味する「醍醐味」、サルピルマンダとカルシウムのカルでカルピルとなるところでしたが、響きのよいカルピスとしたそうです。大正8年7月7日全国の酒屋さんを中心に発売しました。当時ラムネやサイダーの10倍以上の値段でしたが、飛ぶ様に売れたそうです。ちなみに包装紙の水玉模様はモンゴルで見た天の川をイメージしたものです。なかなかマンチックなメッセージが潜んでいるのです。

そこで県は、九月三十日から紅葉の始まる十月二十日までという異例の短い工期で工事を発注しました。当社は地域に少しでも役に立てばとの思いで入札に挑み受注に成功しましたが、担当者としては、本当にやれるのか、出来るのか不安で一杯でした。朝礼で完成までの社員一丸となつてガンバローと気合を入れて、その日から橋の材料や護岸に使う特殊な網袋の手配や作業日程の調整、作業責任者の割り振りと、まさにてんやわんやでした。本当に大勢の方の協力で二週目には二基の橋台と護岸が完成し、橋げたを掛けるための巨大な百三十トンクレーンが姿を見せたときには、一山越えたようでホッとしたものです。

約束の二十日の午前中まで舗装のライン引きや掃除など仕上げにかかりましたが、午後一時無事開通することが出来ました。発注元の県土整備局のかたがたと大いに喜び、達成感を味わうことが出来ました。テレビのニュースでも紹介されましたので、会員の皆さんの中にはご覧になられた方もいたかもしれませんね。お世話になります。全ての方にお礼を申し上げます。(橋の前後はほぼ直角に曲がっています。御通行の際には十分注意してください。)

被災の様子
上流の堰堤も壊れています。

力強い130tクレーン
橋桁を簡単に持ち上げます。

舗装前の橋
うれしさが徐々にこみあげてきます。

第一鳥橋架設工事

大山環状道路(県道倉吉江府溝口線)は、春から晚秋にかけてその見事な景色を堪能するため県内外から、それは多くの車や人が利用します。ピーク時には一日五千台もの車両が通行します。わけても鍵掛峠からの大山南壁は一番の人気です。大自然のパノラマが、カーブを曲がりきった途端、目の前に、いや目の上に迫つてくるのはまさに圧巻です。

その環状道路にある第一鳥橋(と言つてもピンと来ないです)が、九月始めの台風十二号により写真のような大被害を受け、やむなく交通止めになつてしましました。この間水から御机まで多くの方が観光の機会を失いました。

江府町にある奥大山スキー場下の急カーブ中にある橋です)が、九月始めの台風十二号により写真のような大被害を受け、やむなく交



『健康で長生き』人生のヒント

中年を過ぎて関心の高くなる」といえば、やはり健康についてですね。人間誰しも長生きしたいものです。

しかし私たちの寿命は持つて生まれたものだし、御先祖様からの
遺伝なども大きいに関係しているらしいのだから、あまり高望みして
もどうにもならない、と思っている方がほとんどだと思います。

いことありました「レスベロール」という植物由来の薬品です。一九三九年に北海道大学の高岡道夫氏が発見したものです、動物実験では、長寿、抗炎症、抗癌、血糖降下、放射線障害抑止などの効果が確認されています。放射線物質による汚染が心配される日本で注目度は高くなりそうです。現在健康補助食品として何種類か販売されています。これを毎日服用すれば、食事制限なしでサーチュイン遺伝子を活性化出来、平均寿命百歳も夢ではありません。

元気な高齢者が増えれば医療福祉費が削減され、国家財政に貢献します。少子高齢化社会では必須のサプリメントといえます。



自然薯便り

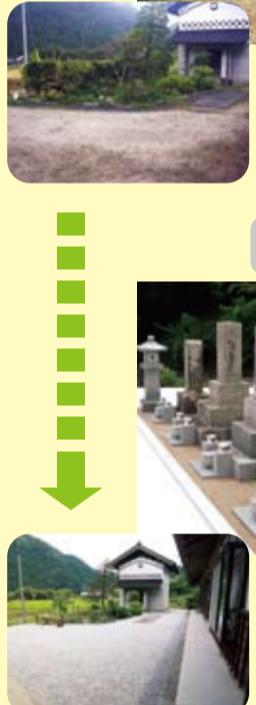
今年も奥大山自然薯の掘り取りの季節がめぐつてきました。自然薯は高温と多湿が大敵なので、去年と今年のような気象状況では品質がいまひとつ您的です。

先ほろ試験掘りをしましたが、こわらは形、味とも最高でした。やはり標高の高い笠良原台地の恵みなのだと思います。一日も早くお届けしたいところですが、熟成を待つて十一月末頃からの発売とします。電話でも受け付けていますが、江府町佐川の『みちくさ』でお買い求めできます。少数生産ですので、お早めにどうぞ。

ビフォーオー



アフター



ビブオーフター

田辺家

日南町にお住まいの田辺様は地元に何代も続く旧家です。庭や墓地の手入れを「夫婦でされていましたが、昨年、今年の異常な暑さによる雑草の繁茂に何とか手を打とうと、ご依頼を頂きました。古い墓石をまとめ、建物を解体し、墓石をキチンと立て直しておにぎり砂舗装とコンクリート舗装を打ちました。また、お庭は強力な防草シートを張り伝統を感じさせる母屋に合うよう白系の碎石を敷き詰め、低めの四つ目垣を設置しました。打ち合わせで何度もお話を伺いましたが、お家の佇まい同様落ち着いた雰囲気のとても素敵なお夫婦でした。そのお二人から満足のお礼の言葉を頂きました。

場の除雪業務は町から委託契約と共に除雪機械も借り受けます、当社も相当な距離を除雪しますので何台かの機械があります。しかし、公共の設備で個人の要望にこたえることは規則によりできません。そこで今年から当社の保有機を待機させることにしました。個人の駐車場や私道の除雪、車両の脱輪事故など不測の事態に備えます。移動もナンバーを取得しましたので台車などがいらず経済的です。料金は町と同じ時間当たり一円



編集後記

世界中が大変革に災害にと、今年も色々ありました、弊社も六月には倉庫の火災で皆様に大変お世話になりました。何やかやで本号の発刊が今日まで延びてしましました。お待ちいただいた会員様にお詫び申し上げます。次号も情報満載でがんばります。宜しくお願ひします。

タイヤショベル

夏が過ぎ涼しい風が吹いてくるこの、ふと見上げる山々が恋しくなる会員の方は少なくないのではないか?その理由の一つに名峰大山周辺の山の幸、きのこ狩りにもあります。

先日社長夫妻が友人の案内できのこ狩り(こちらでは「茸取り」といいます)に出かけました。『ナラタケ』とか『ザーザー』と呼ばれるきのこらしいですが、時期と場所に恵まれて貴い物袋三枚一杯取れたそうです。でもこのきのこ、時としてあたり一面に生えることがあるそうですから、皆さんの中には「いやいや私のほうがもつと・・・」という方がいらっしゃるかもしれませんね。

夏が過ぎ涼しい風が吹いてくるこの、ふと見上げる山々が恋しくなる会員の方は少なくないのでしょうか？その理由の一つに名峰大山周辺の山の幸、きの「守山」もあるのです。

ビフォーアフター

宇田家

宇田様は、ご実家の再整備を考えられてご依頼を頂きました。永年の風雪に耐えてきた家屋はずいぶん傷んでいましたが、ご自分で一つひとつ修理をされたそうです。外回りはさすがに一人ではかなわず、当社の出番となりました。物干し場の設置、駐車場の確保、そして雑草を防いでガーデニングを進しむなど、非常に中身の濃いお仕事でした。出来上がりには本当に満足していただき、わざわざ遠いところまで弊社まで御礼に出かけてくださいました。

A man in a white long-sleeved shirt and a white baseball cap is kneeling in a forest, examining a cluster of yellow mushrooms growing on a tree trunk. He is wearing light-colored pants and work boots. In the background, another person is visible in the distance, also in a forest setting.

ばれるきのこらしこですが、時期と場所に
恵まれて買い物袋三枚一杯取れたそうです。
でも「このきのこ」時としてあたり一面に生
えることがあるそうですから、皆さんの中
には「いやいや私のほうがもっと・・・」
という方がいらっしゃるかもしれませんね。